

評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2027年3月31日	評価番号	A-473		
評価技術名称					連絡先	http://www.				
部分開口 構造用合板補強工法					〒					
真壁「370 開口」					電話	Fax				
概要	技術概要					裏棧を用いることなく、真壁の仕様で構造用合板に開口部を設けた耐震補強工法。				
	技術の特徴					コスト				
	<ul style="list-style-type: none"> 壁体内に土壁や設備配管等が存在しても施工可能な裏棧なしの仕様。 換気扇などの開口部にも使用可能。 一般流通品なので取り扱いが容易。 					サンプル構面		62,251 円/kN (外側半間評価)		
						設計見積り例		-		
公的機関による技術評価・性能証明					実験実施機関					
機関名					名古屋工業大学					
評価番号					その他					
評価取得日										
仕様	適用範囲					写真・図				
	構法		木造在来軸組工法							
	規模		3 階建て以下							
	基礎、地盤		特になし							
	適用部位		内外壁							
	その他		特になし							
	主要構成部材の仕様									
	構造用合板 厚 12mm 以上									
	釘 N50、CN50 @100 以下									
	間柱、継手受材なし、四方受材あり									
耐震性能										
評価仕様: 真壁仕様										
壁基準耐力		壁基準剛性								
3.64kN/m		511kN/rad./m								
A-111 からの低減係数 $\alpha = 0.7$										
壁基準耐力 $5.2 \times 0.7 = 3.64$										
設計方法										
①柱接合部による低減										
取付部分が健全であること										
②劣化による低減										
取付部分が健全であること										
施工者指定										
特になし										
その他										
					構造用合板 厚 12mm 以上 釘 N50、CN50 @100mm 以下 四周打ち 四方受材 30×40mm 以上 釘 N75 @150mm 以下 または N90 @200mm 以下					